

<別紙1>

## 第三者評価結果報告書

①第三者評価機関名

株式会社フィールズ

②施設・事業所情報

名称：ちやいれっく上白根保育室	種別：地域型保育事業	
代表者氏名：川口 明子	定員（利用人数）： 18名（利用人数16名）	
所在地：〒241-0002 横浜市旭区上白根1-1-19ライオンズマンション鶴ヶ峰第7 101号室		
TEL：045-744-8136	ホームページ： <a href="https://chilec.procure.co.jp/kamishirane/">https://chilec.procure.co.jp/kamishirane/</a>	
【施設・事業所の概要】		
開設年月日：2012年10月20日		
経営法人・設置主体（法人名等）：株式会社プロケア		
職員数	常勤職員：8名 非常勤職員：11名	
専門職員	（専門職の名称）	
	保育士 14名 栄養士 1名	
	保育補助 2名 調理師 1名	
施設・設備の概要	（居室数）	（設備等）
	保育室 3	園庭 なし
	トイレ 園児用1 職員用1	
	調理室 1	
	事務室 1	

③理念・基本方針

【理念】

『大地にがっしりと根を張る〈大樹〉になってほしい』  
この子らはどんな葉を茂らせ、どんな花を咲かせ、どんな実をつけて人を笑顔にするのだろう。子どもたちが〈大樹〉と育つための、その基となる〈根っこ〉を育てるお手伝いをしたい、そうプロケアは願っています。

【保育方針】

〈こころ〉〈からだ〉〈生活〉の三位一体の保育を目指します。  
【こころ】温かい「第二の家庭」を提供し、心の豊かさを育む  
【からだ】生活のリズムを整え、食育に取り組み、健やかな身体を育む  
【生活】様々な体験を通じて、主体性と協調性を育む

園の保育目標

- 1, げんきな子
- 2, おもいやりのある子
- 3, さいごまでがんばる子

④施設・事業所の特徴的な取組

マンションの一室の小規模保育室です。駅からは遠い場所ではありますが、近隣には

遊歩道や自然がたくさんあり、乳児でも歩いて探索活動が出来る子育てに恵まれた環境です。連携園の園庭を使用させていただいたり、コロナ流行前は近隣の保育園の園児さんと一緒に遊んだり、リズム運動を合同で実施することもありました。

#### 【リズム運動】

園児一人一人が主役がとなり、毎日の繰り返しの実施を大切に、3クラス合同で活動をしています。乳児なので保育者と一緒に個々の発達に合わせて身体を動かしています。

2歳児の動きを見て、0歳児や1歳児は学びながら毎日の繰り返しを行うことで身につけてきます。

寝返り→すり這い→高這い→歩行へと進み、金魚、お馬の親子、とんぼのねがね等の親しみのある曲に合わせて体を動かします。

ハイハイは骨盤を安定させ、バランス感覚を養い脳の発達に非常に重要な役割を持ちます。指先から足先までをすべてを使う基本の動きのため、人間として発達する上で大切な始めの動きとなります。

体幹づくりから指先への分化を促し、さらには指先遊び、パズル、ひも通しなどの遊びの豊かさに発展させています。

#### 【食育】

「見る・匂いをかぐ・触ってみる」を体験する内容を中心に実施し、野菜を洗いスタンプをする、寒天遊びをするなど、乳児でもできるように工夫しています。保護者向けに「簡単なレシピ紹介」を配信したり、離乳食などの質問のあるご家庭からは個々の相談も受けております。

#### ⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和4年5月1日（契約日）～ 令和5年1月4日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	- 回（ - 年度）

#### ⑥総評

◇特長や今後期待される点

##### 1)子ども一人ひとりに寄り添った保育

日々の昼礼や月2回の職員会議での情報交換、職員連絡ノートを活用した細やかな申し送りを通して、各クラスの様子や一人ひとりの子どもの状況を職員全体で共有しています。情報を共有することで、施設長はじめ、保育士、栄養士がチームワーク良く、一人ひとりの子どもに応じた保育を提供する体制を構築しています。小規模ならではの強みを生かし、家庭的な温かみのある環境の中で、子どもたちを見守り、個性を大切に保育を実践しています。

##### 2)保育内容の充実に向けた取組

子どもたちが安全に楽しく、心身ともに健やかに成長できるよう、様々な活動を組み入れています。リズム運動を3クラス合同で行い、異年齢での交流を楽しみながら、思いやりや憧れの気持ちを育てています。食育活動では低年齢児でも行えることを取り入れ、食材を観察してみたり、触れて感触を楽しむ、匂いを嗅いでみるなどの体験をしています。絵本に親しむ環境づくりにも力を入れており、登場人物の衣装を職員が手作りし、物語を体現しながら、ごっこ遊びに展開できるようにするなど、保育内容の充実を常に図りながら実践につなげています。

### 3)職員が学び合う環境づくり

法人では、階層別研修や職種別研修のほか、保育所の職員に必要な専門知識や技術が身に付くよう、様々なテーマを設定して年間の研修計画を作成しています。園内研修でも、事故防止や障がい児保育、保護者支援などのテーマを設定し、職員が講師となって研修を行ったり、意見交換を行いながら学び合うなど、毎月継続的に研修を実施しています。区や市が行う外部研修の情報提供も積極的に行い、常勤、非常勤問わず、参加できるよう調整しており、職員の意欲向上を図りながら、保育の質の向上を目指しています。

### 4)地域との交流や地域支援を推進するための取組

職員は、散歩で行き交う人々と積極的に挨拶を交わすなどして、子どもの手本となり、地域との関わりを大切にしています。また、散歩先の公園でごみ拾いを行うなどして地域のために活動することを心がけています。園では、子どもたちと地域との交流を今後どのように広げていくか検討しています。手作りおもちゃの作り方や離乳食の進め方の講座を開催するなど、園が培ってきた専門的な技術や知識を地域に還元したいとしており、今後の取組が期待されます。

### 5)実習生やボランティア等の受け入れ体制の整備

0～2歳児までの小規模園ということもあり、実習生やボランティアの受け入れは、難しい状況にありますが、保育所及び地域の社会資源の役割の一つとして、実習生やボランティアの受け入れ体制を整備することを課題として捉えています。実習生の育成に関する基本姿勢とボランティア受け入れに関する基本姿勢を明確にしてマニュアルを作成するなど、今後の取組が期待されます。

## ⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

第三者評価を受審するにあたり、保護者の皆様をはじめ、多くの皆様に自己評価を行う上でご協力頂き大変感謝しております。横浜保育室から小規模保育室となり10年目を迎え、時代や環境の変化が起こる中で小規模園での保育内容、行事の在り方等、毎年試行錯誤しながら実施してまいりました。今回の第三者評価を通して、直接園での様子を見ていただき、客観的なご意見や違う視点からのアドバイスを頂戴しました。その上で、私たちの取り組んできた保護者対応の大切さ、手作り玩具、リズム運動、食育等を高く評価していただけたことが大変嬉しく、自信となりました。保護者の皆様から頂いたご意見をしっかり受け止め、今後の取り組みや保育の内容にできる限り反映させ、お気持ちに寄り添うことができるよう、職員一同努めてまいります。ありがとうございました。

## ⑧第三者評価結果

別紙2のとおり